

## 平成 28 年度事業概況報告書

自 平成 28 年 4 月 1 日

至 平成 29 年 3 月 31 日

平成28年度の日本の景気は、雇用・所得環境が改善し、緩やかな回復基調が見られた。ただし、個人消費及び民間設備投資は、所得、収益の伸びと比べ力強さを欠いた状況となっている。本年3月度の内閣府 月例経済報告においても「景気は、一部に改善の遅れもみられるが、緩やかな回復基調が続いている。」と要約されている。また「先行きについては、雇用・所得環境の改善が続くなかで、各種政策の効果もあって、緩やかに回復していくことが期待される。ただし、海外経済の不確実性や金融資本市場の変動の影響に留意する必要がある。」とされている。先行きについて政府は各種施策の効果もあって緩やかに回復に向かうことを期待しているものの米国大統領選挙後の円相場の不安定さや、イギリスのEU離脱の影響、そして景気の牽引役であった中国のGDPの伸びが低下してきており、今後の世界経済に与えるリスクを懸念する状況となっている。

また本年1月にはトランプ米国大統領によるTPP（環太平洋戦略的経済連携協定）からの離脱が正式に表明された。しかしながらTPPに関わらず今後の経済発展にEPA/FTA協定は必要不可欠であり、2国間協議と日EU EPAやRCEPなどの複数国での経済連携を模索して行かなければならない。日本でもこのような他国との経済連携協定に端を発し、よりグローバル化（ハーモナイゼーション）への対応をしっかりと進めていく必要がある。他方、先進国を中心にHACCPの義務化が進められ、輸入食品にもHACCPを要件とする国が増加してきている。国内食品業界、また乳業界においても今後の競争環境に大きな変化が伴うと予想され注視する必要がある。政府によるHACCPの義務化、将来のポジティブリスト化を見据えた「食品用器具及び容器包装の規制に関する検討会」などグローバル化（ハーモナイゼーション）への対応はより具体的となりそれぞれの業界、団体が近い将来に自ら一步を踏み出す準備としてしっかりと情報をとらえ準備を進める必要がでてきた。

そのような外的環境の変化の中で当協会においては、計画通りの会員企業誘致が進んでいないことから、財務基盤の見直しが重要課題となっている。平成 28 年度の計画達成に向けて支出の見直しを予算やこれまでの慣例にとらわれることなく進め、協会だよりの電子化、オープンセミナー案内の電子化を始め広告宣伝費・購入資料の見直し、協会事務所に会議スペースを設けるなどしてきた。技術分野では当協会の目的である公衆衛生の向上に資するための活動として、一般社団法人全国発酵乳酸菌飲料協会主催の生産技術衛生講習会の講師として全国7か所での「製造機器の洗浄・消毒及び保守管理のポイントについて」の講義を実施し（乳機器部会）、印刷インキに関する自主基準を改定し、乳等の飲料用紙パックの印刷に使用する UV オフセットインキにおいて、光重合開始剤についての自主基準を追加した。また紙ふたの試験方法についても改定を行った。厚生労働省実施の「食品用器具及び容器包装の規制に関する検討会」への委員の派遣を通し当協会が持つ強みを活かして積極的に活動を展開した。また、オープンセミナーでは「食の安心と安全を創る」をテーマに公益目的事業としての活動を行った一方、会員セミナーにおいては「食品用器具・容器包装の規制と最近の動向」として厚生労働省基準審査課より講演いただくなど会員企業の事業に関連する情報提供の充実を図った。

本年度の主な活動内容は以下の通りです。

1. 平成 28 年 5 月 18 日に第 5 回定時社員総会を開催した。
2. 平成 28 年 8 月より厚生労働省による「食品用器具及び容器包装の規制に関する検討会」に委員を派遣し、その活動状況については技術統括委員会にて都度報告を実施した。
3. 平成 28 年 11 月 30 日に 7 回目の開催となるオープンセミナーを「食の安心と安全を創る」をテーマに公益目的事業として実施し、非協会員を含む約 100 名の参加者があった。
4. 平成 29 年 2 月 3 日に事業企画小委員長、技術統括委員長出席のもと関西地域の会員を対象に協会活動の状況と会員間の懇親を図ることを目的に関西ブロック会議を行った。
5. 平成 29 年 2 月 23 日に会員向けの情報提供に特化した会員向けセミナーを厚生労働省基準審査課 山本課長より講演いただき約 60 名の参加者があった。
6. 事業企画小委員会は財務基盤の大きな変化に、平成 30 年度のゴールとそこに至るまでのロードマップ等の項目について見直しを行った。また新たに平成 30 年までの財務シミュレーションを作成し平成 30 年度のゴールと平成 31 年度以降の課題を確認した。
7. 技術統括委員会は印刷インキおよび紙ふたに関する自主基準を改定した。また樹脂ふた・蓋材 WG において接着剤に関する会員向け Q&A を作成した。
8. 紙容器供給各社では自主基準に適合する UV オフセットインクへの切り替えを進めている。
9. 乳機器部会は、異物混入対策リストをベースに資料を作成し(一社)全国発酵乳乳酸菌飲料協会主催の生産技術衛生講習会の講師とし全国 7 か所での「製造機器の洗浄・消毒及び保守管理のポイントについて」講義を実施した。
10. 厚生労働省基準審査課、監視安全課、東京都健康安全研究センターには適確な情報提供を行うとともに当協会に関連する情報収集に努め必要な情報の協会会員へのタイムリーな提供を行った。
11. 当協会に関連する重要な事項について、一般社団法人日本乳業協会、全国飲用牛乳公正取引協議会、一般社団法人全国発酵乳乳酸菌飲料協会、公益財団法人日本乳業技術協会、ポリオレフィン等衛生協議会等と必要な情報の交換を行った。

このように当協会は、厚生労働省はじめ各方面のご協力と会員各位のご尽力により本年度もその歩みを進めることができました。今後も国民の健康と食の安全に資する取組みを主軸に活動を進めて参ります。

以上

## 附属明細書：事業活動の詳細

### 1. 第5回定時社員総会

平成28年5月18日（水）第5回定時社員総会開催（モントレ半蔵門）

正会員37社出席（委任状出席15社含む）

- (1) 採択事項：
  - ①平成27年度事業概要報告及び決算書の件
  - ②平成28-30年度ロードマップの件
  - ③理事選任の件
- (2) 報告事項：
  - ④平成28年度事業計画書及び予算書の件
  - ⑤事業企画小委員会答申の件
  - ⑥技術統括委員会活動報告の件

### 2. 主な活動

#### (1) 技術統括委員会

乳等の飲料用紙パックに使用されているオフセット印刷インキに含まれる光重合開始剤について、紙容器WGが中心となり自主基準を策定し、自主基準に適合したインクへの切り替えを進めている。また関連した情報を一般社団法人日本乳業協会、一般社団法人全国発酵乳乳酸菌飲料協会、印刷工業会液体カートン部会などへも情報提供を行った。

厚生労働省「食品用器具及び容器包装の規制に関する検討会」に委員を派遣し、近い将来のポジティブリスト化を前提とした動きに技術的側面から業界の意見を伝えると同時にその進捗について、技術統括委員会において要望の収集と情報の適切な伝達に努めた。

#### (2) 乳機器部会

異物混入対策リストをベースに今回のために資料を作成し(一社)全国発酵乳乳酸菌飲料協会主催の生産技術衛生講習会の講師とし全国7か所での「製造機器の洗浄・消毒及び保守管理のポイントについて」講義を実施した。

#### (3) 事業企画小委員会

当協会の平成30年度までのロードマップに基づいて平成28年度活動について協議し合意形成を図りながら推進した。

また、平成30年度ゴール達成に向けた答申を取りまとめ、外部環境の変化に応じた形で課題を確認し、ロードマップの見直し案の検討を行った。

### 3. 官公庁・関係団体などとの取り組み

- (1) 厚生労働省…乳等省令に関する問い合わせ対応や関連情報の提供を実施。また光重合開始剤に対する自主基準策定後の報告。PL化を見据えた「食品用器具及び容器包装の規制に関する検討会」への委員の派遣、進捗や考え方など会員セミナーを通しての連携を図った。
- (2) 関係団体等…光重合開始剤、液状ミルクなど技術的処々の課題について日本乳業協会との情報共有、ポリオレフィン等衛生協議会との情報交換、光重合開始剤など重要課題の全国発酵乳乳酸菌飲料協会への情報提供及び生産技術講習会での講師派遣を実施。また全国飲用牛乳公正取引協議会への協力(専門部会参加)実施など関係団体とのネットワーキングの維持、活性化に努めた。

#### 4. 広報事業の取り組み

会員に対する情報提供と非協会会員を含めた普及啓発事業の実施

(1) 第7回オープンセミナーの実施

公益目的事業として第7回オープンセミナー「食の安心と安全を創る」をテーマに実施した。ホームページ上でも広く案内し、非協会会員を含む約100名の方に参加いただいた。

(2) ホームページ

特に不特定多数を意識したコンテンツの充実に努めた。新着情報やお知らせのタイムリーな更新に努めた。

(3) 協会だより

協会会員の事業に関係するトピックから広く外部執筆者に寄稿を求め、その充実に努めると共にホームページとのコラボを継続した。

#### 5. 会員数

平成29年3月末現在正会員	37社
賛助会員	26社及び3団体
個人賛助会員	4名
計	63社3団体及び4個人

#### 6. 会議等の開催状況

(1) 通常総会	平成28年 5月18日	1回
(2) 理事会		4回
(3) 事業企画小委員会		12回
(4) 技術統括委員会		8回
(5) 紙容器WG		6回
(6) 乳機器部会		5回
(7) 樹脂ふた・蓋材合同WG		6回
(8) オープンセミナー	平成28年 11月30日	1回
(9) 関西ブロック会議	平成29年 2月3日	1回
(10) 会員向けセミナー	平成29年 2月23日	1回

以上